

# 学校運営協議会委員の皆様を対象としたアンケートの集計結果について

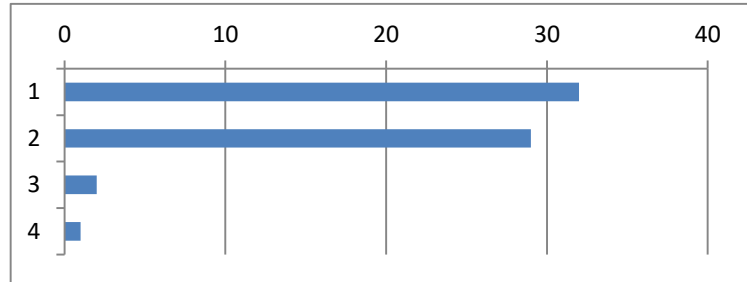
令和4年1月

## 1. 学校の教育活動についてお答えください。

(1) 学校は子どもを中心とした教育活動を行っていると思いますか。

\* 単位は件数

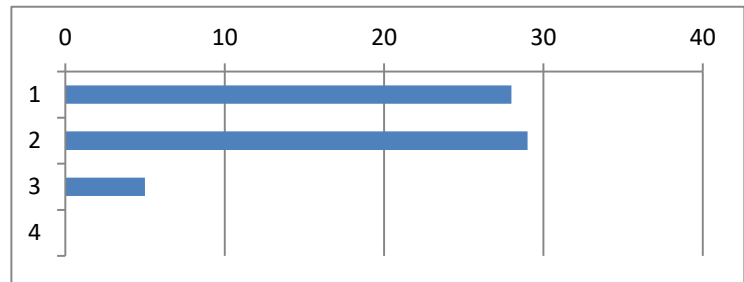
- ① 思う (32)
- ② どちらかといえば思う (29)
- ③ どちらかといえば思わない (2)
- ④ 思わない (1)



(2) 学校は地域住民と連携した教育活動を行っていると思いますか。

\* 単位は件数

- ① 思う (28)
- ② どちらかといえば思う (29)
- ③ どちらかといえば思わない (5)
- ④ 思わない (0)

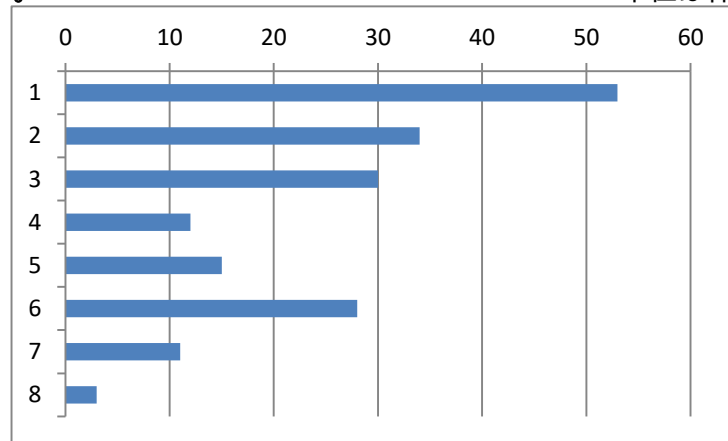


(3) 学校教育について、特に望むことは何ですか。

\* 単位は件数

\* 3つまで回答

- ① 学力向上の取組 (53)
- ② 体力づくりの取組 (34)
- ③ 人権教育の充実 (30)
- ④ 防災教育の推進 (12)
- ⑤ ICT機器を活用した教育の推進 (15)
- ⑥ 地域と連携した教育の推進 (28)
- ⑦ 保護者への情報提供 (11)
- ⑧ その他 (3)



◆ その他の内容について

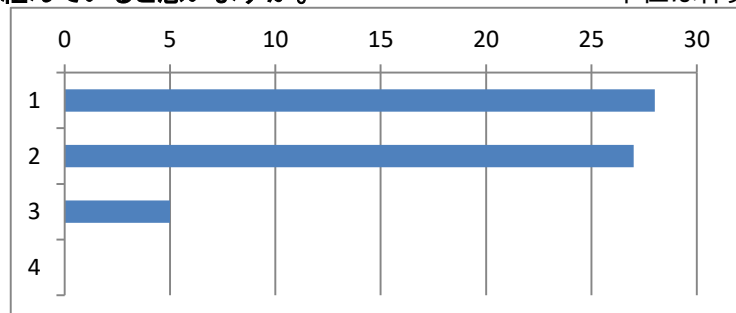
- 道徳教育
- 基本的な人格の育成
- 道徳教育やディスカッションの機会を増やす

## 2. いじめの問題についてお答えください。

(1) 学校はいじめの問題について、前向きに取り組んでいると思いますか。

\* 単位は件数

- ① 思う (28)
- ② どちらかといえば思う (27)
- ③ どちらかといえば思わない (5)
- ④ 思わない (0)



(2)いじめの問題について、学校や教育委員会がどのような取組を行っていけばよいか、ご意見をお聞かせください。

①学校 <※ 注:学校名、個人名が特定される表現は該当箇所のみ修正しています。>

- 問題を抱える児童の把握。
- 家庭との連携をしっかりとる。
- 子どもとお話をしてほしい。
- どんな異変でも感じたら直に対応。
- 早く気づき、丁寧に話を聞いてやる。
- アンケートの実施(保護者に対しての)
- 定期的にアンケートや個人面談を行う。
- 早期発見、早期対応、関係機関との連携。
- 加害者が絶対悪いことの徹底。隠さないこと。
- カウンセリングや悩み相談ができる場を提供。
- 他者への思いやり、気配りができるようになる。
- 生徒の異変にいち早く気づくことが大事だと思う。
- 地域住民の手をもっと借りた方がよいと思います。
- 定期的、授業でいじめについて考える時間を作る。
- 子どもたちの変化を見逃さないようにしてください。
- 一番大切なのは担任の先生ではないかと思います。
- 子どもに寄り添っていじめについての話を常にする。
- 少人数校ほど目に見えないいじめがあるかもしれない。
- いじめは絶対だめという意識、道徳心を養うための指導。
- 子どもの生活態度を注視し、保護者との連携を密にすること。
- 一人ひとり、個別の時間を設けていじめがないかを尋ねてみる。
- いじめがあることを確認した際はすぐに教育委員会に報告すること。
- 目配り気配りでとにかく子どもたちを毎日しっかり見てほしいと思います。
- いじめは大なり小なりあると思うので、子どもたちに寄り添い守ってほしい。
- 子どもよりまず先に教育者の育成からしっかり見直すべき最近の状況にて。
- 細かな情報収集、一人一人の子どもの意見や悩みに耳を傾けすぐに対処する。
- 学校として取り組みされていても先生方の中には対応のできていない人がいる。
- 小さな問題でも学校全体で協議し、できれば教育委員会まであげていただきたい。
- 問題が起こった場合、児童生徒本位の聞き取り。相手を思いやる気持ち、想像力の向上。
- いじめのサインを見逃さないことが大事で、先生方のいじめに対する研修を深めてほしい。
- 一人ひとりの個性を尊重し認め合う雰囲気づくり、子どもとも対話を大事にしていきたい。
- いじめの現場は学校以外にもあると思うので、普段より子ども同士の関係などに注意してほしい。
- 子どもたちの小さな変化にも気がつけるように大人と子供の関係づくりに取り組んでいただければ幸いです。
- 様々な規模によるいじめの問題があり、教育現場は大変だと思いますが、早期発見早期対応が肝要かと思いません。

■いじめは悪いことだと子どもたちに伝える。いろいろなことを言えるクラスづくり。先生と子どもたちの信頼関係をつくる。

■児童生徒の学校生活の状況把握と何か変化が生じたときの迅速な情報収集及び具体的な対応策などをマニュアル化する。

■特にこれといって気になることはありませんが、もしいじめなどが発覚した際、真摯に取り組んでいただけたらと思います。

■不登校になる前に気づく、子どもの辛さに寄り添うことのできる教師、日常的ないじめはダメ!!というときの取組をしてほしい。

■日ごろの子どもの様子を見て、いつもと変わっていないかどうか、いじめにあっていないかどうか早期に見つけてあげてほしいと思います。

■休み時間には子供の日常の様子が表れやすいと聞かれる。気になる言動を教職員で共有していただきたい。職員が感度を高めきめ細かく対応が大事。

■児童生徒がいじめについて担任と相談できる人間関係を作る。問題が起こってからではなく、日ごろからいじめについて考える授業や1対1での面接を行う。

■一人一人が存在感を持ち、他人の存在を認める生活を送っていると思います。家庭が学校が(あるいは地域が)そう育てている子どもたちは知らず知らずそんな人間性を身に付けながら成長しているように思います。

■一人ひとり、感じ方や表現の仕方は違い、多様です。自由の中にも自ら選択しそのことに責任を持ちながら仲間と楽しく学校生活を送れるよう導いていただきたいと思います。・一人ひとりがお母さんが命懸けで生んだ命であり、大切に育てられて未来のある命なので、健全な想像力を持って、ご指導をお願いしたいと思います。

■いじめはあってはならないことだと思います。あるテレビ番組で、いじめられた子どもはすごく傷ついて不登校になったり復讐を考えたりしたそうです。その後いじめた子どもに聞いてみるといじめではない、からかったりふざけたりしただけと答えていました。いじめられる子どもは一人、いじめた子どもは複数人。どんなささいなことでも見落としてはいけないと思います。すごく考えさせられました。

■不登校、保健室登校の生徒がたくさんいると聞きます。それについて改善される様子もないので、もう少しきちんと考えるべきではないかと思います。中にはただ勉強するのが嫌で保健室にいるという子どももいると聞きました。そういう状況が通るのはおかしいのではないかと思います。「いじめはある」との前提で普段から対応し、少しの変化を察知したらすばやく対応してほしい。子どもの命を守ってください。

■いじめは見えないところで行われるものであるため、何気ない言葉や行動に気をつけていただきたいと思います。また、地域からの声が届くように地域とのコミュニケーションを大切にしてください。・いじめの原因について、改善可能な問題点を挙げるならば、中学での部活指導の勝利至上主義とか根性主義という悪弊の改善があるのではないのでしょうか。その体質の中には弱さを攻撃の対象とする思想が宿っている気がします。

## ②教育委員会

<※ 注:学校名、個人名が特定される表現は該当箇所のみ修正しています。>

■事実関係の究明

■アンケートの実施

■関係機関との連携

■学校との連携をしっかりとる

■何事も迅速に対応してください

■SNSやツイッターなどの情報収集

■学校との連携が必要だと思います。

■マニュアル通り対応しない方がよい。

■学校の取組への支援と取組状況の把握

■問題が起こったときの情報開示、体制作り

■学校現場との十分な意思疎通をお願いします。

■隠さないこと、徹底して被害者の立場に立つこと

- 学校と同じ目線で取り組んでいってほしいと思います。
- 学校の取組への支援、家庭教育に対する情報の提供等
- 正確な情報を開示する。カウンセラーや支援の教師の配置。
- いじめはある！と思って、学校との連携をし、子どもたちを守る。
- 先生方が子どもたちに費やす時間を少しでも多くとれる体制づくり
- 現場でのリアルな声(先生方の)を大切にしていきたいです。
- 各学校は小さいいじめでも気軽に教育委員会へ話ができるようにする。
- いじめの報告があった場合は学校などと協議してすぐに対応すること
- 問題が起こる前からいじめについての研修やアンケートなどを多く取り入れる。
- 学校教育者との情報を一本化、もっと身近に向き合い一人を大切にしてほしい。
- 保護者・学校・地域・教育委員会が情報共有できる環境づくりに向けた取り組み
- 特段の要望はありません。ありがたい教育環境を維持していただきたいと思います。
- 上記のようなこと(小さな問題)でも委員会では大小関わらず取り扱っていただきたい。
- 頑張っている学校のサポートや第三者の目線でいていただきたいと思います。
- 子どもや保護者が相談しやすい場所づくりを ex)「いじめ相談窓口」、学校へのサポート
- いじめが発生した時、学校と協力し原因を把握し再発防止に努める。原因をきちんと調べる。
- 迅速ないじめ対応だけでなく、いじめが起こらないよう生徒指導も学校現場に強く徹底することを求めたい。
- 先生方にもう少し仕事に余裕を持たせてあげて、いじめのを見つけ方などの研修を受けさせてあげてください。
- 大人でも職場のいじめがあります。児童だけでなく保護者(大人)も含め、いじめを考える機会があればよいと思います。
- 教師が子どもと向き合う時間を確保できるような仕事内容の見直し、1クラス担当を数人で見通せるような手厚い環境づくりをお願いしたい。
- 大変なことが起こってからでは遅いので、学校側と連絡を密にとりとにかく多くの情報を得て、早め早めに対応をしていただきたいと思います。
- いじめはその学校の教育問題で起こる特殊事例として問題視するのではなく学校生活の中でどの学校でも必ず起こる事例であるとの認識が必要。
- いじめは見えにくくなればなるほど、深刻化すると思います。小さなサインを見逃さないためにも子どもと触れ合う時間を産みだす工夫と努力をお願いします。
- 速やかな情報の開示(正確なもの)、誠意ある対応を見せる(アンケートばかりでは意味なし。具体的に実際にどのような事例にどのように対応したのか報告する(無視・暴言などの対応))
- 学校はとてがまばって人権教育に取り組んでいると思われまので、地域からの声に対しては多面的な情報分析をしていただきたいと思います(もちろんそうしていただいていると思いますが…)。
- 不登校、保健室登校の生徒がたくさんいると聞きます。それについて改善される様子もないので、もう少しきちんと考えるべきではないかと思えます。中にはただ勉強するのが嫌で保健室にいるという子どももいると聞きました。そういう状況が通るのはおかしいのではないかと思えます。

### ③その他についての意見等

- 【いじめの問題全体への意見】  
相手の立場に立って考え、嫌がることをしてはいけません。学校や家庭で改めて思いやりの気持ちを教えることも重要ではないか。
- 【アンケート記入後の感想】  
熊野市内の学校で“いじめ”があるのか？と誤ってしまいました。「ない」に記入したけれど、もし“いじめ”あるのならと想定して書きました。よく考えたら、不思議なアンケートですね。